

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2006-110385(P2006-110385A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2006-13420(P2006-13420)

【国際特許分類】

D 0 6 F 39/08 (2006.01)

D 0 6 F 39/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 39/08 3 1 1 C

D 0 6 F 39/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月30日(2007.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

底台上に設置される外箱と、前記外箱内に設けられる水槽と、前記水槽内に回転可能に配されるドラムと、を備えたドラム式洗濯機において、前記底台の前方に人の手を掛けることのできる凹部を設けたことを特徴とするドラム式洗濯機。

【請求項2】

前記凹部を下面から上方に向けて凹ませたことを特徴とする請求項1に記載のドラム式洗濯機。

【請求項3】

前記凹部を前記底台下端面よりも上方に配される面に設けたことを特徴とする請求項1または2に記載のドラム式洗濯機。

【請求項4】

前記外箱には背面上部に把手部が設けられ、前記水槽は前面側に開口、背面側に駆動機構を有することを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載のドラム式洗濯機。

【請求項5】

前記凹部を前記底台に一体に設けたことを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載のドラム式洗濯機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ドラム式洗濯機

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

上記従来のドラム式洗濯機によると、例えばドラム式洗濯機の後方や下方の掃除をする際にドラム式洗濯機を移動させるには持ち上げて運ぶ必要があり、重量が大きいため簡単に移動させることができない問題があった。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明は、上記課題を解決するためなされたものであり、簡単に移動させることのできるドラム式洗濯機を提供することを目的とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 3
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 4
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 5
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0037】

本発明は、底台上に設置される外箱と、前記外箱内に設けられる水槽と、前記水槽内に回転可能に配されるドラムと、を備えたドラム式洗濯機において、前記底台の前方に人の手を掛けることのできる凹部を設けたことを特徴としている。この構成によると、例えばドラム式洗濯機を前方に引き出す際に、凹部に手を掛けることにより容易に引き出すことができる。

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

また本発明は、上記構成のドラム式洗濯機において、前記凹部を下面から上方に向けて凹ませたことを特徴としている。

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

また本発明は、上記構成のドラム式洗濯機において、前記凹部を前記底台下端面よりも上方に配される面に設けたことを特徴としている。

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0040

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

また本発明は、上記構成のドラム式洗濯機において、前記外箱には背面上部に把手部が設けられ、前記水槽は前面側に開口、背面側に駆動機構を有することを特徴としている。

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

また本発明は、上記構成のドラム式洗濯機において、前記凹部を前記底台に一体に設けたことを特徴としている。

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 29】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 30】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 31】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

本発明によると、底台の前方に凹部を形成しているので凹部に手を掛けて簡単にドラム式洗濯機を手前に引き出すことが可能となる。これにより、ドラム式洗濯機の後方や下部の掃除等を容易に行うことができる。

【手続補正 32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 35】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

以下に本発明の実施形態を図面を参照して説明する。説明の便宜上、従来例の図24～図28と同一の部分については同一の符号を付している。図1は実施形態のドラム式洗濯機を示す外観斜視図である。また、図2(a)、(b)はその正面図及び側面図である。

【手続補正 36】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

また、本実施形態のドラム式洗濯機は、図22に示すように、底台35上に外箱1が取

り付けられ、その上に天板 3 6 が取り付けられる。底台 3 5 には開口部 3 5 a が設けられ、図 2 3 に示すように、開口部 3 5 a を介して下面から支持具 8 1 を配することにより、水槽 4 を支持することができる。そして、外箱 1 の下面は、開口されているため、支持具 8 1 により底台 3 5 上に水槽 4 を配置した後、水槽 4 を外箱 1 により覆って組立てが行われる。